



「アスカ、この前の戦闘は
めっちゃくちやだった」

「そんなこと言わなくても…」

「これ、NERVからの懲戒だよ」

「えっ」

「今日から下校は裸で」

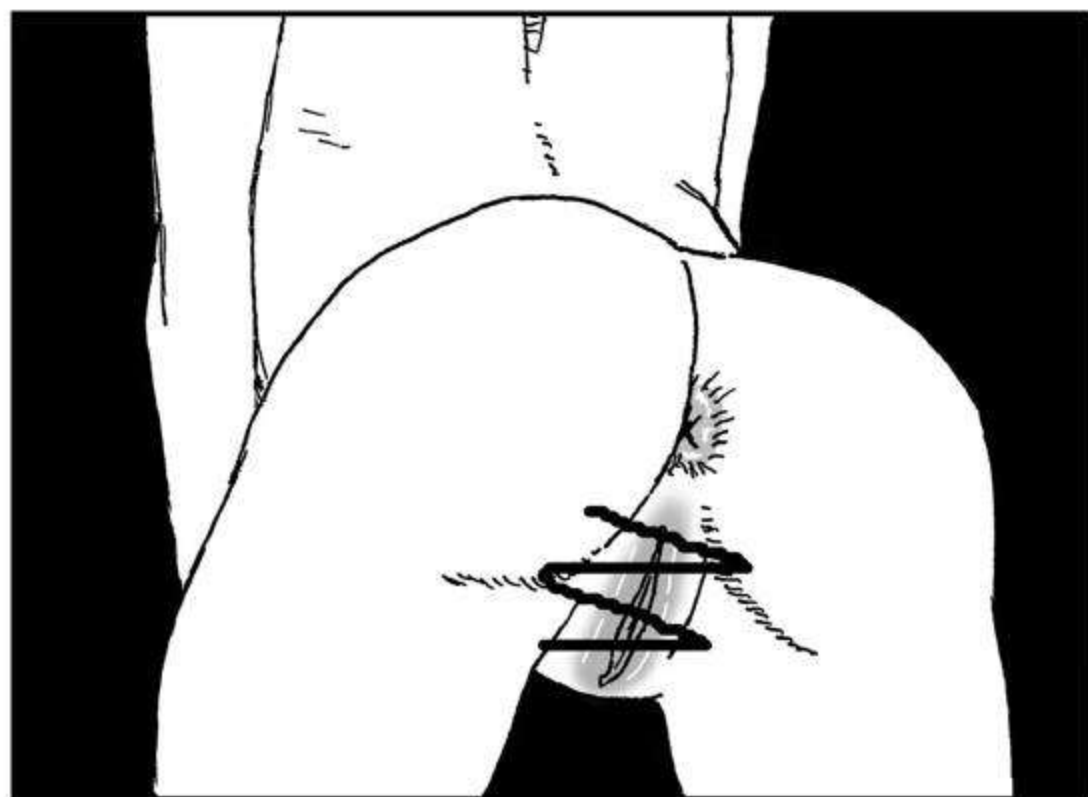


「ムリムリムリ、こんなのは絶対に」

「アスカ、抵抗すればするほど、
より大きな懲戒処分になるだけよ」

「こういうのは嫌、お願い…
なんでもするから」





お前もかよ!!



アスカ、
もう少し
くつついてみる

あんた
趣味悪い
本当に！

私たちはエヴァン
ゲリオンのパイロット！
もっと親しくなる
必要があるんだって

あんたバカ！？
バカバカ！
バカシンジ！！



さあ、不平は
それくらいに
チューしろ、
チュー

チュー

いかり君は学校で毎日毎日
私のアナルをレイプしています

彼はアナルだけをしつこく
じめます

痛みに耐える
私の反応を楽しん
でいるようです
私に拒否権はありません

拒否する考えも…

いかり君は乱暴で

あやなみの身体は
べんりだな

あつんと

さあ出る!!
あやなみの大腸に
ぼくのザーメン
いっぱい満たし
てあげる
無表情オナ
ホール人形
最高!!

私は
人形じゃない

自分勝手

ビュルン

口も悪くして

赤木博士に話せば
おっぱいもこんなに
大きくなれるし
完全にセックスドル
だよ

ズド

けれども

人形じゃ
ない？

おぞっ

んむっ

んっ

いかり君が
大好きです

とても



アスカ、
君は
何だって？

うん、
かじさん
アスカはオナ
ホチルドレン
かじさんの
性処理のための
メスだよ

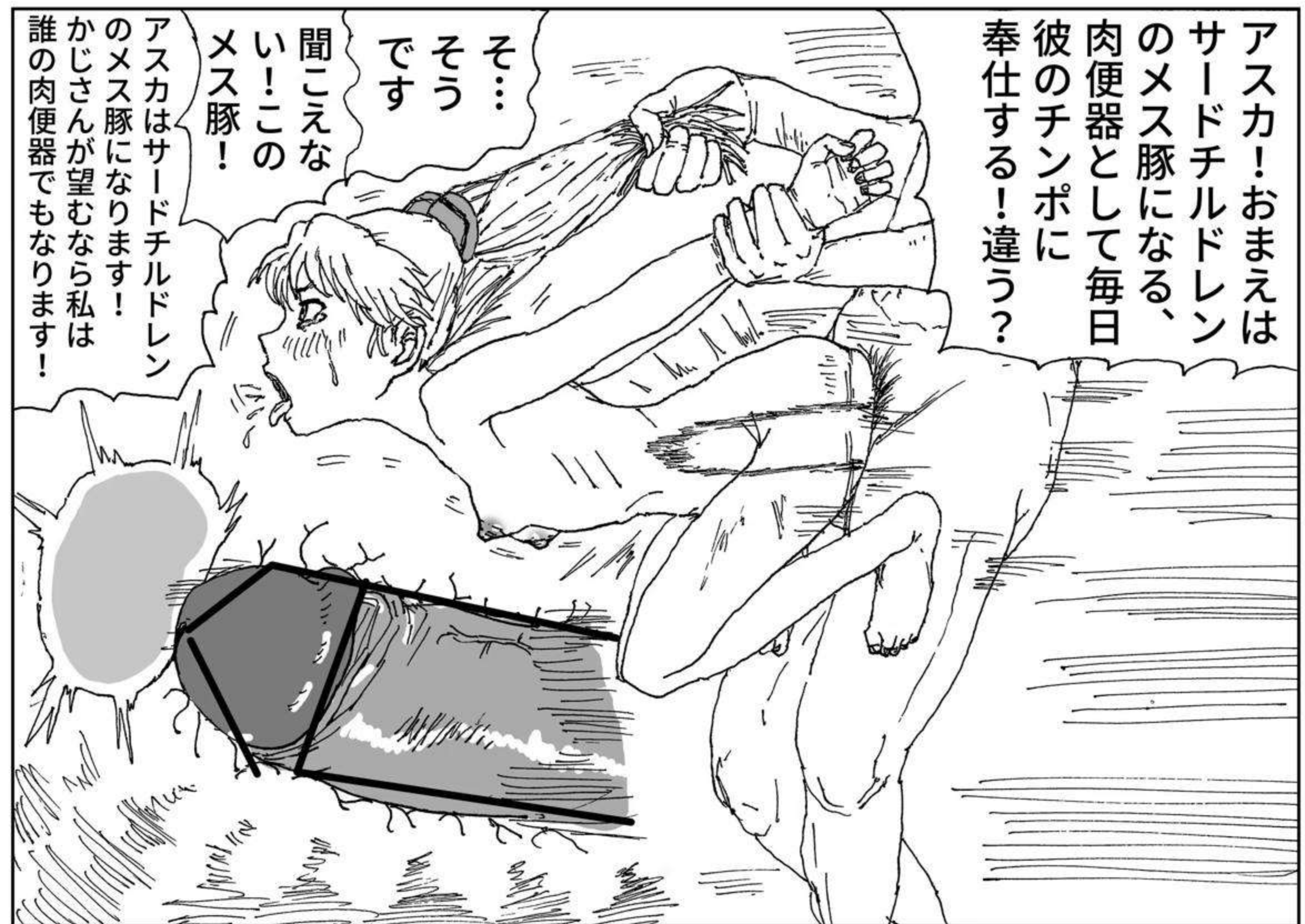


そう、アスカは
性処理のための
肉便器
しかし僕だけの
肉便器ではない

アスカはチンポ
なら目がない変態
万人のための
メス豚さ

え：
そんな
のいや

アスカ！おまえは
サードチルドレン
のメス豚になる、
肉便器として毎日
彼のチンポに
奉仕する！違う？



そ：
そう
です

聞こえな
い！この
メス豚！

アスカはサードチルドレン
のメス豚になります！
かじさんが望むなら私は
誰の肉便器でもなります！

ピッピッピッ



アスカ、
普通に
起こせって
言ったじゃん

そうしようとして
したが
サードさまの
オチンポが
苦しそうに見えて…

朝だから
当然だよ

2号機専属
パイロット
セカンド
チルドレン
惣流・
アスカ・
ラングレーよ
そして貴方の新しい
おもちゃだよ

こんなわがままな
肉便器 アスカと
会ったのは
先週だった

シンジ
君に

紹介
するわ



新しい？
ミサトさん、
僕から逃げるつもり
はないでしょう？

まさかそんな、
私はもうシンジ君の
オチンポの虜なの

今日も
こんなに
可愛がって
くれても
足りない
のかな？



ミサト
さんのよ
うなやり
まんは
これでは
まだまだ
足りませ
んよね？



やりまんって、
女の子にそんな
言い方はよく
ないよ



女の子って、
こんなおばさんオナ
ホールが何を言っ
てるんだ!!

シンジ君!!アス力が見て
いるのに、ごめんなさい
私が悪い!!



そんな格好
でアス力を
迎えに行っ
たくせに
大人の
ふりするな

ああ、シンジ君
の言うとおり
私は大人失格
の汚ないオナ
ホールだよ

その中学生の
オチンポでもっと
怒ってください!!



お

おっ

シンジ君のものが
またいっぱい…

アスカちゃん、
オチンポきれいに
お願いね
おばさんの匂いがする

ええっ、
私が？

ヒー

ビュハッ

ビュハッ

チンポさま
ここです

アスカちゃんには
無理かな？

あ…いや、
できるけど
アスカ
肉便器だから…

アスカ
ちゃんとは
仲良くでき
そうだね

チュル

チュル

ん
あ〜



なによ、スケベシンジ
女を何だと思ってるのよ



どうゆうことをやりたかったら
しっかりしなさいよ



どうしたんだよ、
シンジ君
すごく苦しんでたよ

いや、
ただちよっと…
疲れたようです
ミサトさん

そうなの？
それなら
よかったよ

ミサトと同居することになったシンジ
(本編第2話)

シンジ君!

はい?

入るわ

ガラ

一体何だったのかな

その夢は...

ミサトさん!?

チャプ

ヒヤッ!!
やっぱりお風呂は
命の洗濯だよ



一つ言い
忘れてたけど

あなたは人に
誉められる立派な
事をしたのよ。

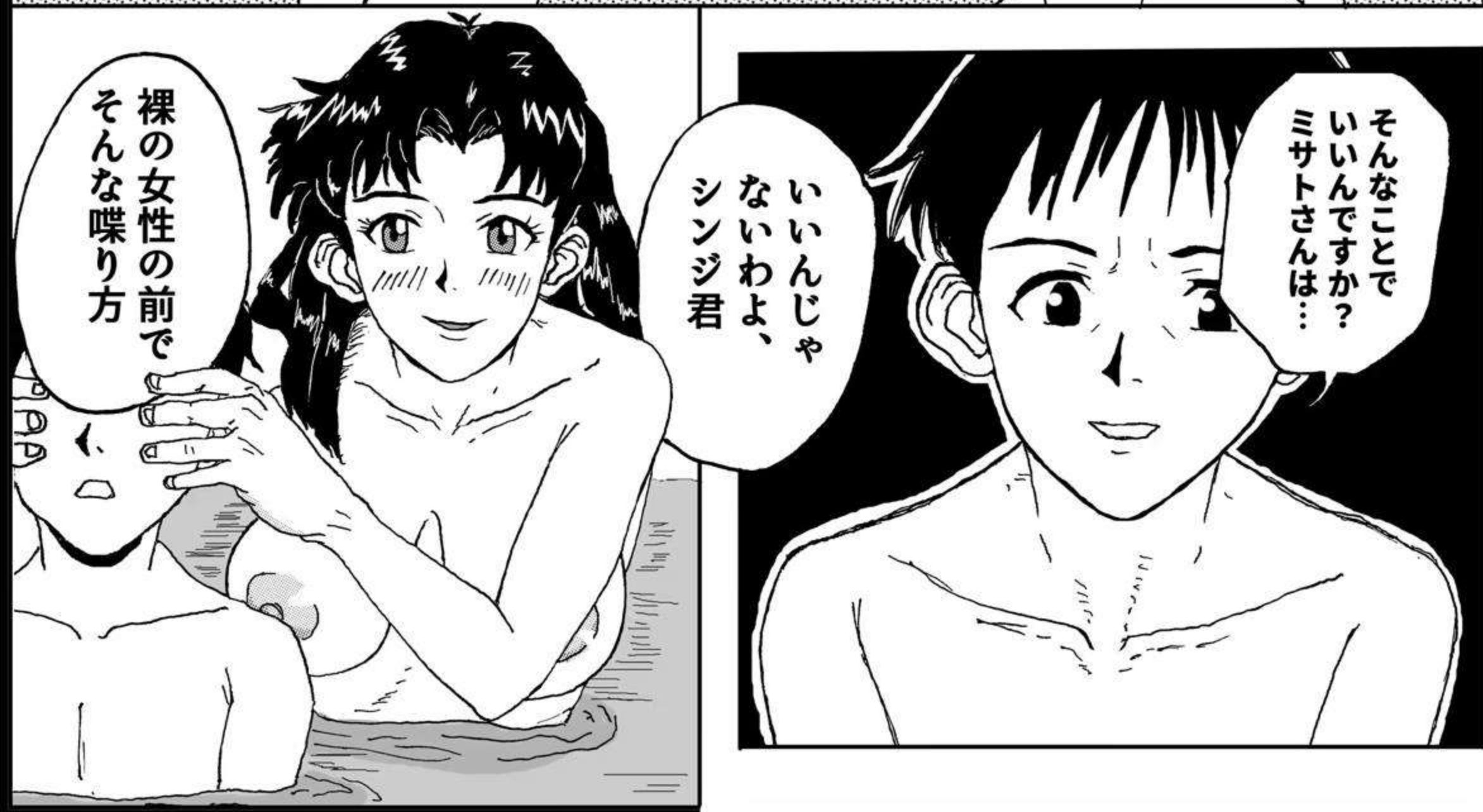
胸を張って
いいわ



ネルフの人として
私は誰よりもシンジ君がした
ことがすごいことを知って
いるわさてシンジ君はちよっと
他人に壁を作ってるみたいださ

偶然にも私がそういう
ことをよく知っているわ
シンジ君には言葉や
慰めじゃなくて人の
体温が必要なんだよ

そこでね、ここに
ちようどいいほど
慈愛に満ちたお姉さんが
いるんだよね♪



そんなことで
いいんですか？
ミサトさんは…

いいんじゃないわよ、
シンジ君

裸の女性の前で
そんな喋り方

必要だとか
必要ないとか
そんな区分は
しないで、

そばにいる人の
温もりを感じてみて
悪い考えなんて
飛んで行って
しまおうわよ

よくわかりません。
愛されたことが
ないから



シンジ君、
他人の好意はね、
他人の勇気なの

それは必ず理解しなければ
ならないのではないのよ
シンジ君の気持ちに
素直になればいいんだよ

ねえ、
どうしたいの？





